

InDesign から ドットブックを つくって見た (デモ)

ポット出版 デザイン担当 山田信也

**DTP のデータを材料に、
ドットブックを作成してみた
手順を紹介します。**

第 1 部

ドットブック作成のおおまかな流れ

第 2 部

ドットブックを作成してみた作業手順

第1部

ドットブック作成の おおまかな流れ

ドットブックの作り方・概要

1 材料を準備する

- ① TTX ファイル（本体）
- ② 図版の画像ファイル
- ③ サムネイル画像
- ④ 設定ファイル

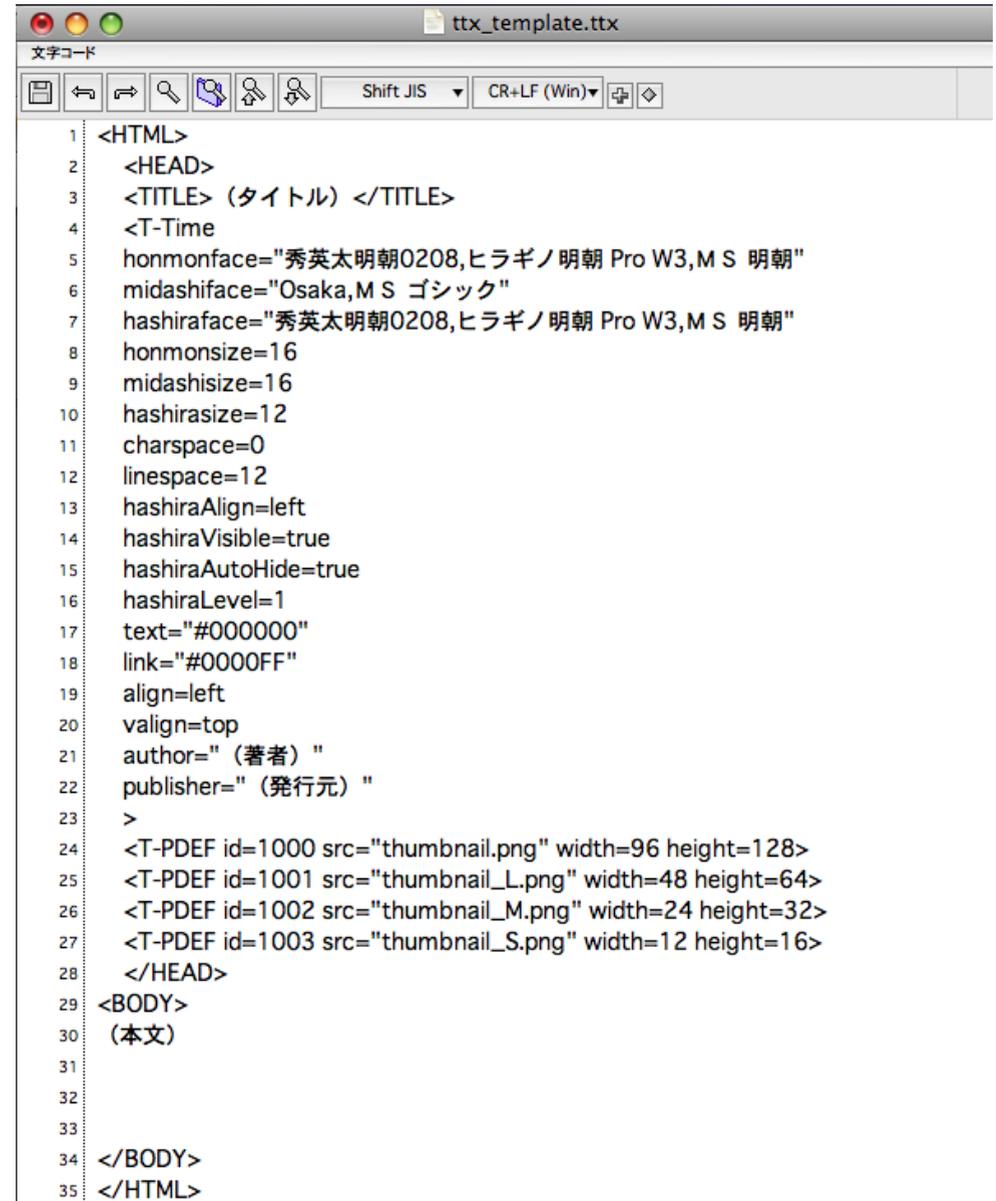
2 dotBookBuilder で変換する

上記の複数のファイルが 1 つの
ドットブックファイルにまとめられる

準備するファイル①・TTX

- ドットブックのもとになる
テキストファイル
- HTML に似た
タグ付きテキスト
<TITLE></TITLE>
のような指示（タグ）を
つける
- 拡張子は .ttx、
文字コードはシフト JIS
改行コードは
CR+LF（windows 方式）

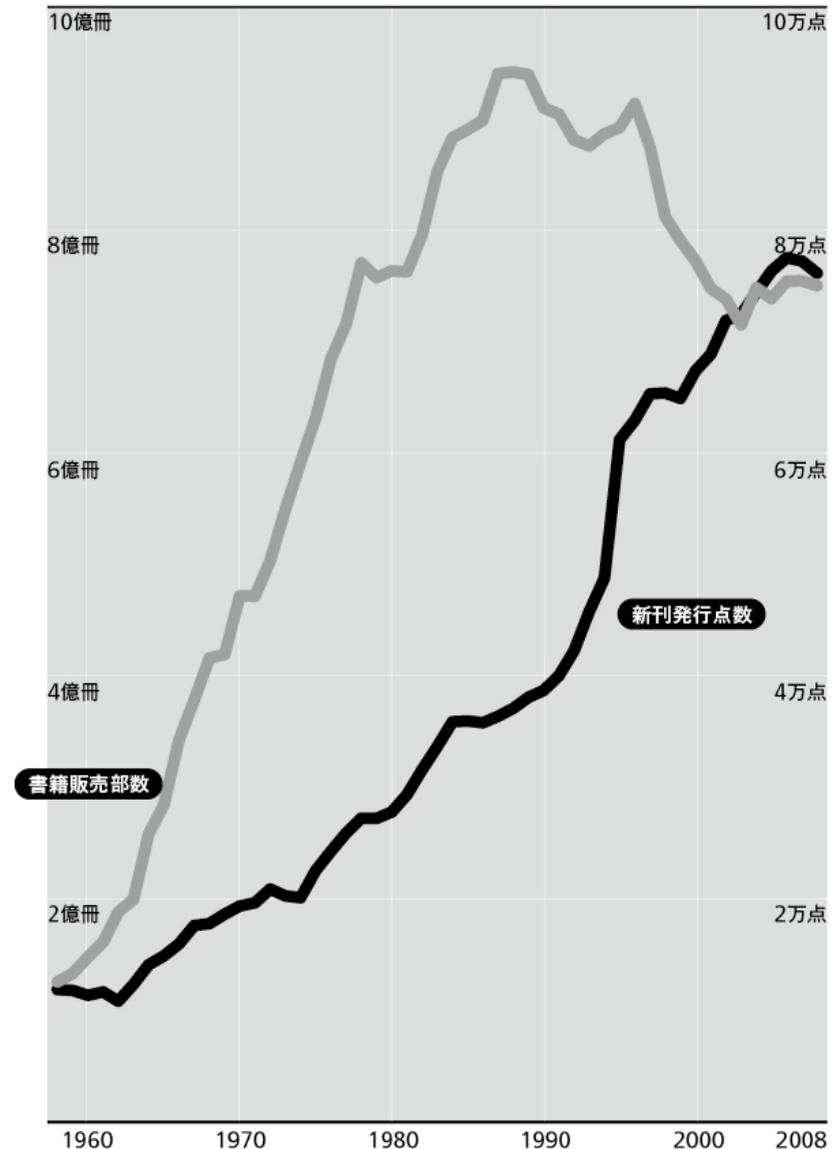
ttx_template.ttx



```
1 <HTML>
2 <HEAD>
3 <TITLE> (タイトル) </TITLE>
4 <T-Time
5 honmonface="秀英太明朝0208,ヒラギノ明朝 Pro W3,M S 明朝"
6 midashiface="Osaka,M S ゴシック"
7 hashiraface="秀英太明朝0208,ヒラギノ明朝 Pro W3,M S 明朝"
8 honmonsiz=16
9 midashisiz=16
10 hashirasiz=12
11 charspace=0
12 linespace=12
13 hashiraAlign=left
14 hashiraVisible=true
15 hashiraAutoHide=true
16 hashiraLevel=1
17 text="#000000"
18 link="#0000FF"
19 align=left
20 valign=top
21 author=" (著者) "
22 publisher=" (発行元) "
23 >
24 <T-PDEF id=1000 src="thumbnail.png" width=96 height=128>
25 <T-PDEF id=1001 src="thumbnail_L.png" width=48 height=64>
26 <T-PDEF id=1002 src="thumbnail_M.png" width=24 height=32>
27 <T-PDEF id=1003 src="thumbnail_S.png" width=12 height=16>
28 </HEAD>
29 <BODY>
30 (本文)
31
32
33
34 </BODY>
35 </HTML>
```

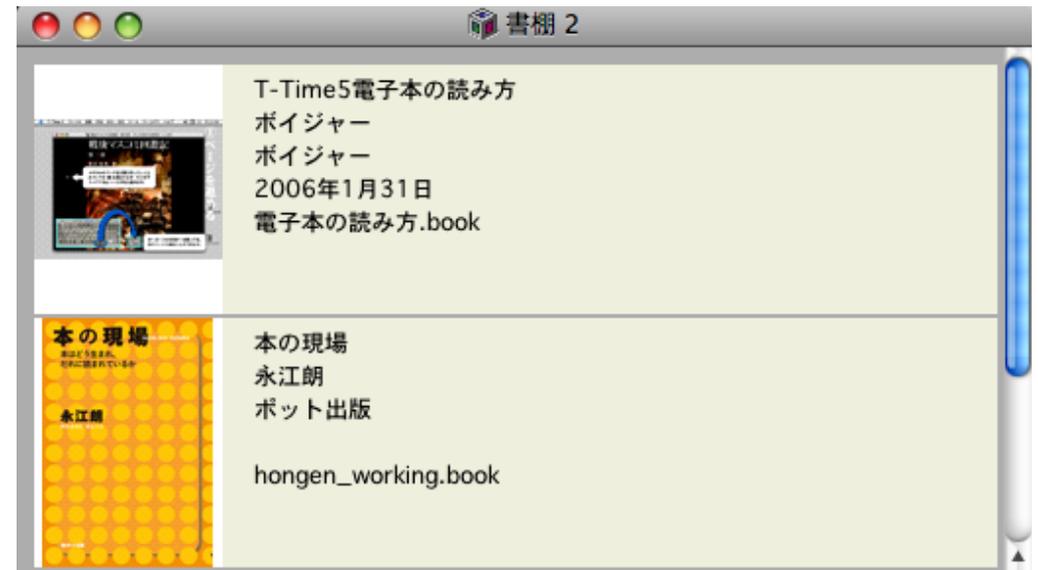
準備するファイル②・画像ファイル

- 本文中に入る挿絵や図版などの要素は、PNG または JPEG 形式の画像ファイルで準備します。



準備するファイル③・T-Time 書棚サムネール

- T-Time 書棚に表示されるサムネールファイル
- PNG (8ビット)
- 特大: thumbnail.png
幅 96px ×高さ 128px
- 大: thumbnail_L.png
幅 48px ×高さ 64px
- 中: thumbnail_M.png
幅 24px ×高さ 32px
- 小: thumbnail_S.png
幅 12px ×高さ 16px



特大
thumbnail.png



大
thumbnail_L.png



中
thumbnail_M.png

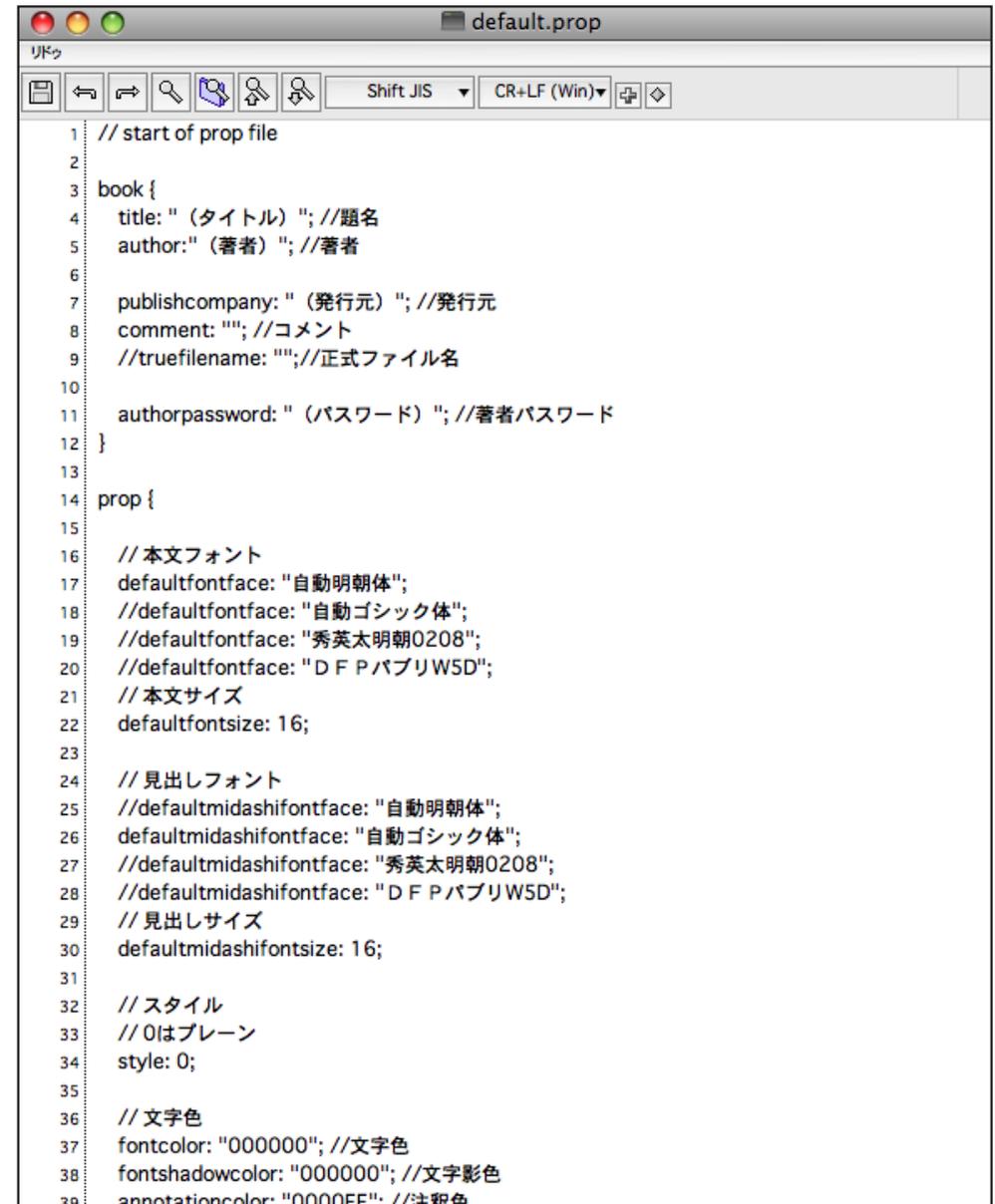


小
thumbnail_S.png

準備するファイル④・設定ファイル(prop)

- ドットブックを生成する際の
設定ファイル
- テキストファイル
- ファイル名を ttx と
同じにする
- 拡張子は .prop
文字コードはシフト JIS
改行コードは
CR+LF (windows 方式)

default.prop



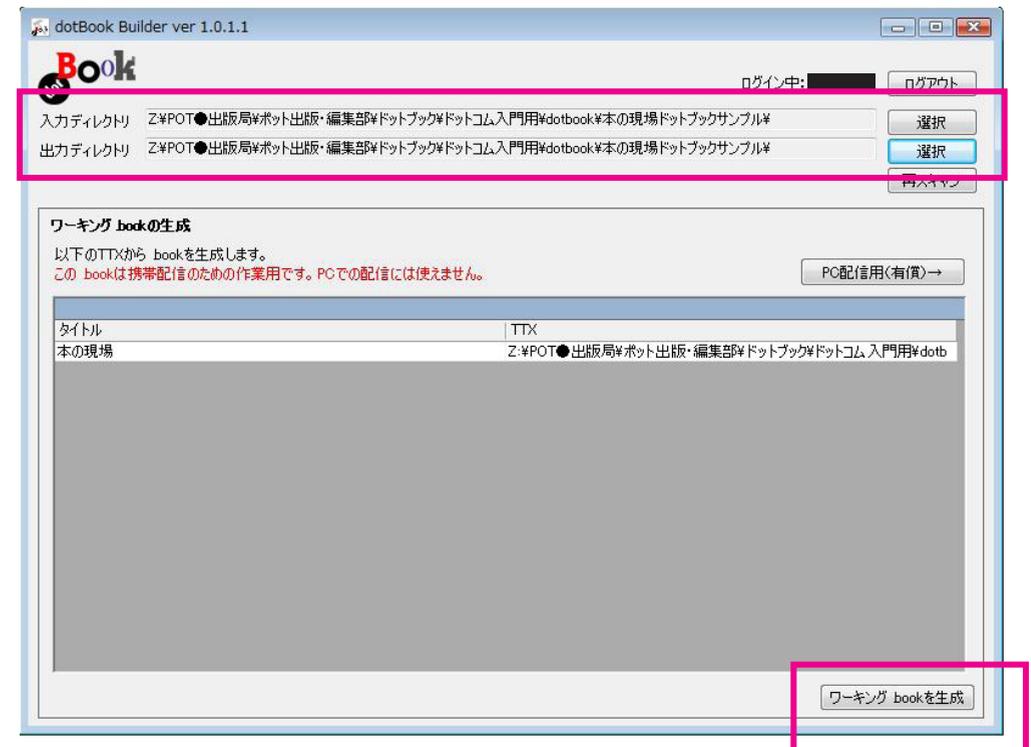
準備が揃ったらドットブックビルダーで .book ファイルを生成する

●ドットブックビルダーを起動

●ログインする

●入力ディレクトリ
(準備したファイルのある場所)
と出力ディレクトリ
(ドットブックを書き出す場所)
を指定する

●書き出しボタンを押すと
.book が生成される。
(PC 配信用の変換は有償)



以上がドットブック作成の
おおまかな流れです。

第2部

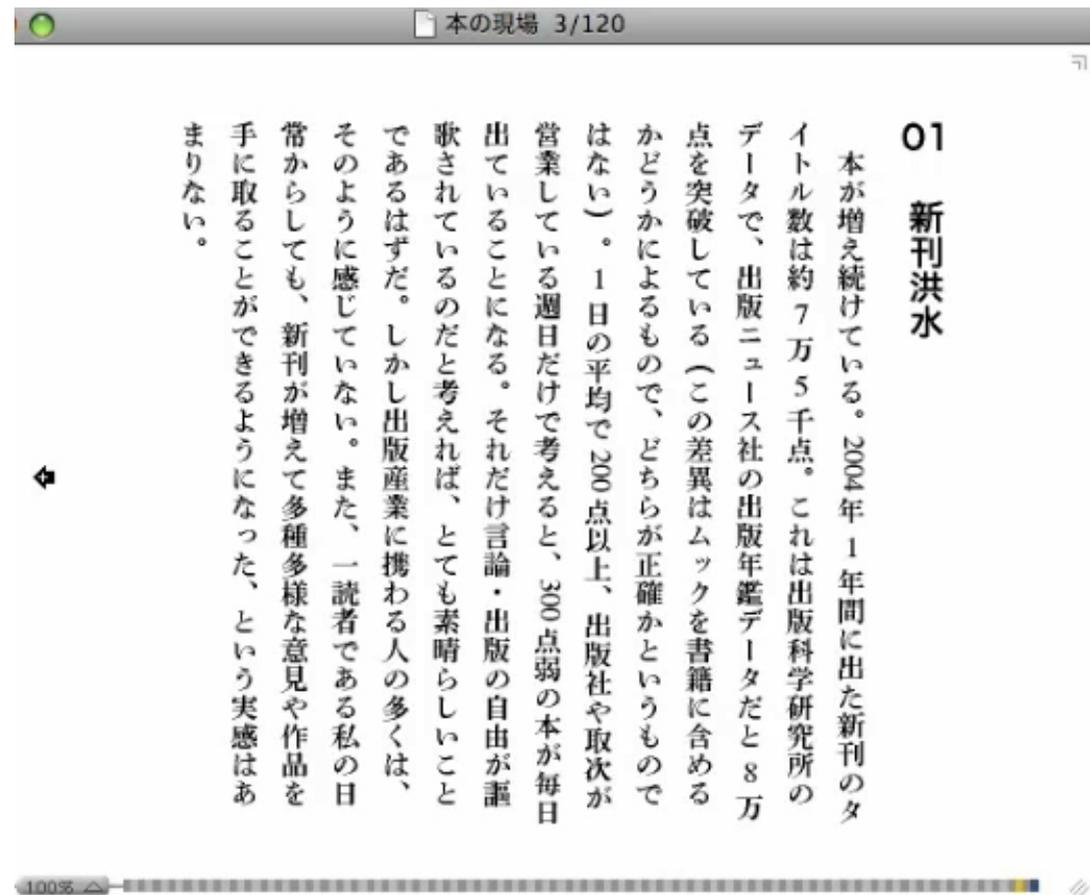
ドットブックを 作成してみた 手順の紹介

●サンプル ポット出版『本の現場』 第1部 本はどう生まれているか および該当部分の目次

- ## ●サンプルの完成イメージ
- ・見出しを太く表示する。
 - ・グラフ／表は画像として入れる。
 - ・目次から該当部分に
ジャンプできるように
リンクをつける。

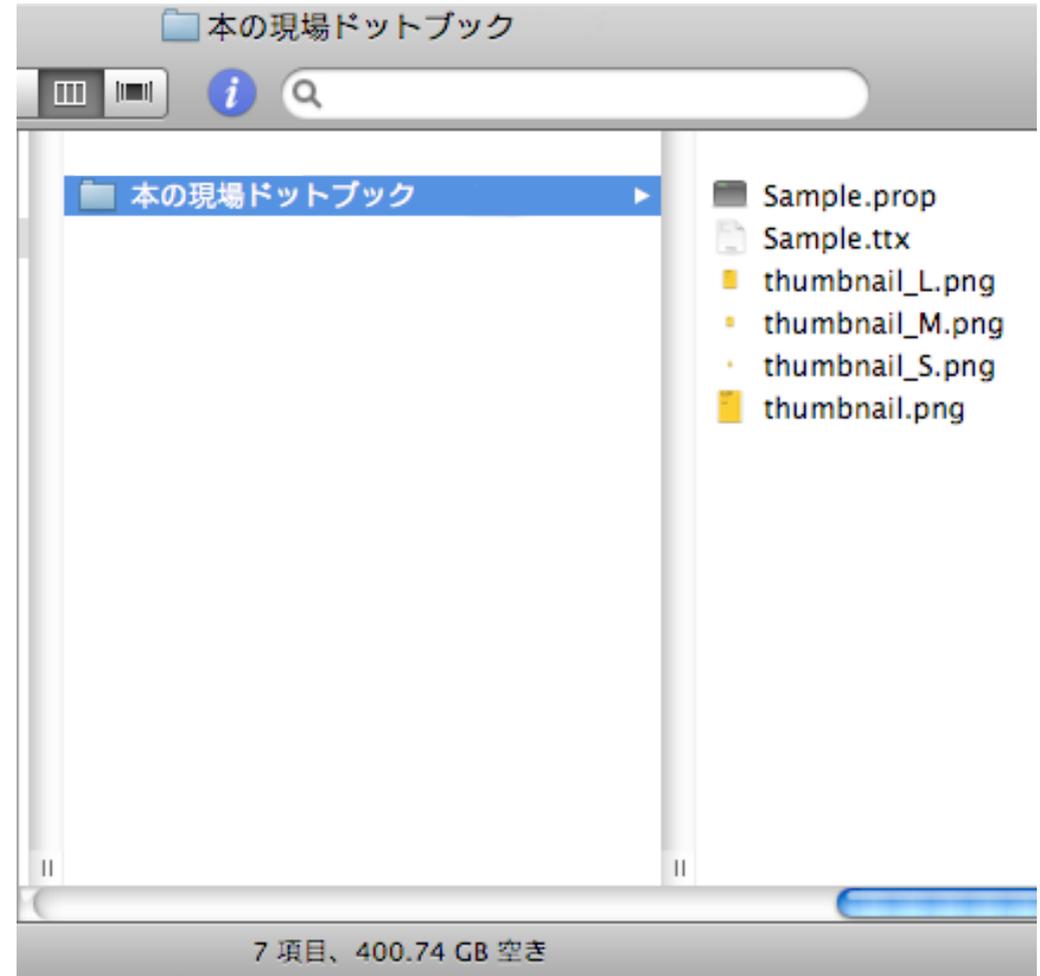
●作業環境

- ・テキスト・画像の編集／加工
MacOS X 10.5.8
mi 2.1.5 (テキストエディタ)
InDesign CS4 (6.0.4) (DTP レイアウトソフト)
- ・ドットブック生成
Windows Vista Home Basic
DotBookBuilderGUI.exe

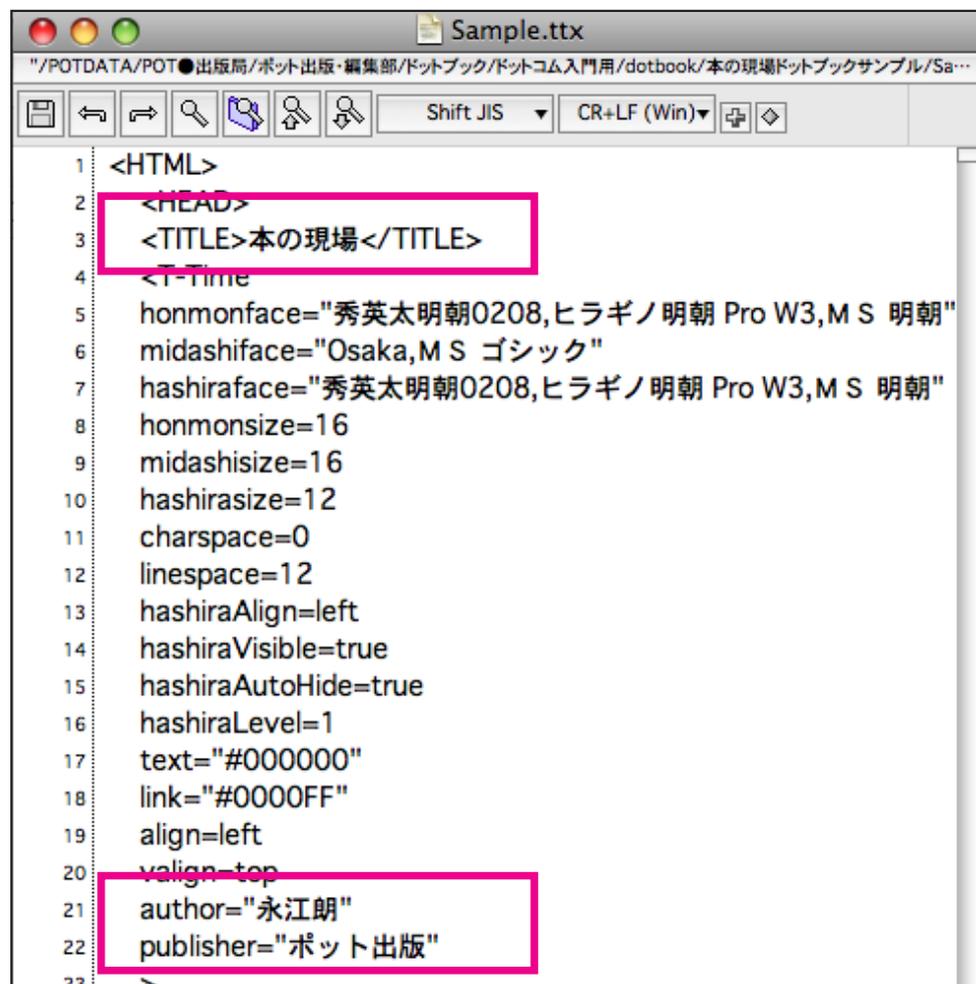


1 下準備

- 作業用のディレクトリ (フォルダ) をつくる
- サムネイル画像を 規定のサイズで作成する
- ドットブックビルダーに 付属している、 ttx と設定ファイルのひな形 ttx_template.ttx と default.prop を コピーしてきて、 ファイル名を変更する

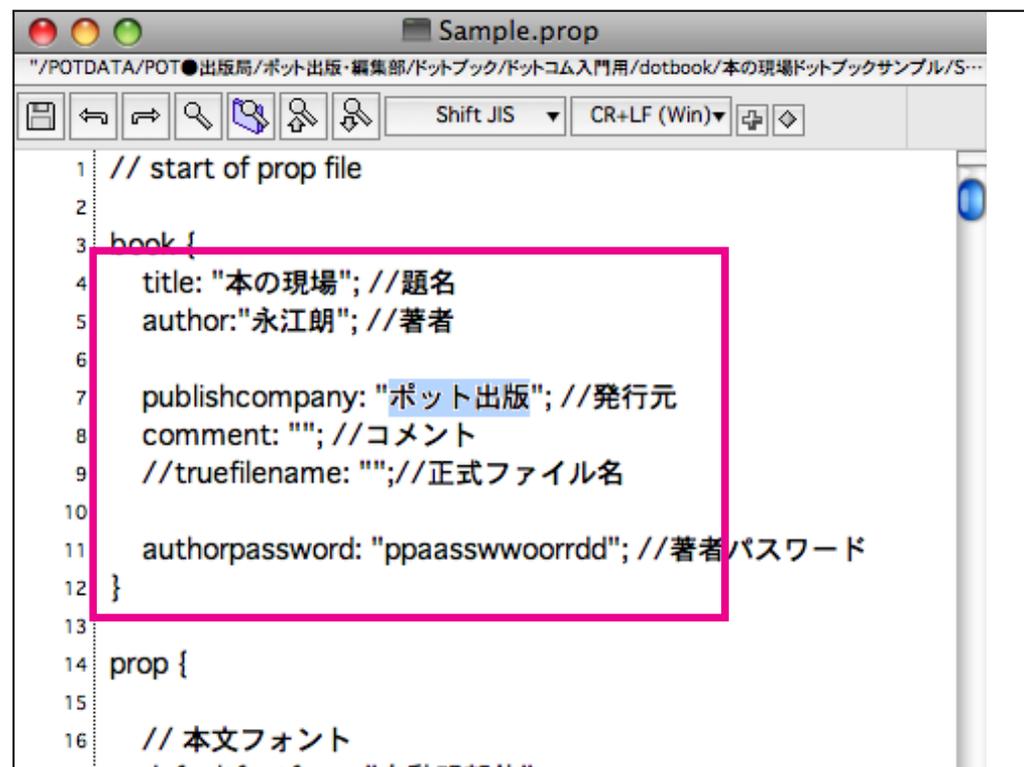


● ttx ファイルに、 タイトル、著者、発行元を いれる。



```
1 <HTML>
2 <HEAD>
3 <TITLE>本の現場</TITLE>
4 <T-Time
5 honmonface="秀英太明朝0208,ヒラギノ明朝 Pro W3,M S 明朝"
6 midashiface="Osaka,M S ゴシック"
7 hashiraface="秀英太明朝0208,ヒラギノ明朝 Pro W3,M S 明朝"
8 honmonsize=16
9 midashisize=16
10 hashirasize=12
11 charspace=0
12 linespace=12
13 hashiraAlign=left
14 hashiraVisible=true
15 hashiraAutoHide=true
16 hashiraLevel=1
17 text="#000000"
18 link="#0000FF"
19 align=left
20 valign=top
21 author="永江朗"
22 publisher="ポット出版"
23 >
```

● 設定ファイルに、 タイトル、著者、発行元、 パスワードをいれる。

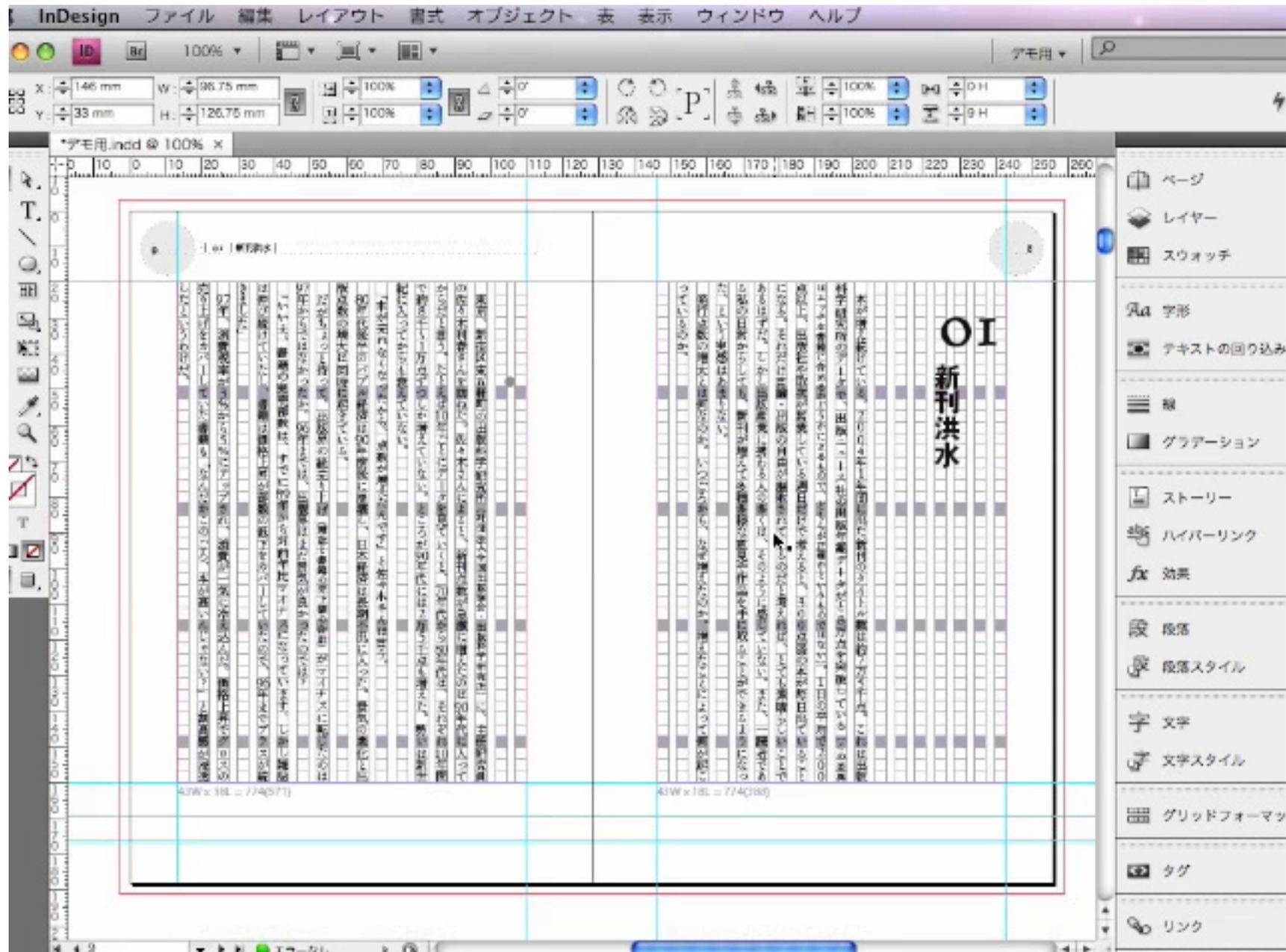


```
1 // start of prop file
2
3 book {
4 title: "本の現場"; // 題名
5 author: "永江朗"; // 著者
6
7 publishcompany: "ポット出版"; // 発行元
8 comment: ""; // コメント
9 // truefilename: ""; // 正式ファイル名
10
11 authorpassword: "ppaasswwoorrd"; // 著者パスワード
12 }
13
14 prop {
15
16 // 本文フォント
```

prop ファイルの設定は以上で終了です。

2 インデザインからの書き出し

元になる InDesign データ



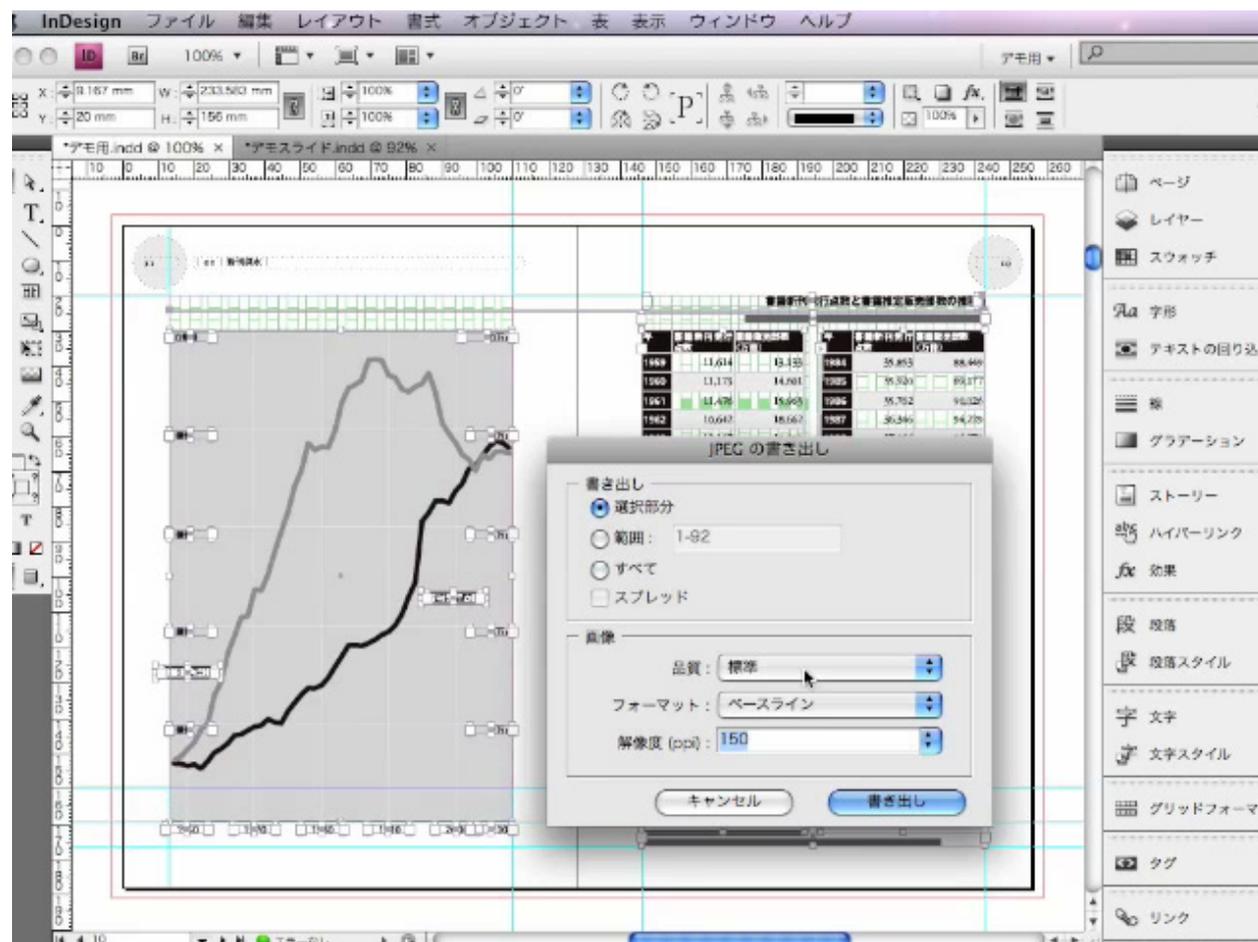
2-1 図版の書き出し

必要な範囲を選択する。

ファイル→書き出し
を選ぶ

フォーマットで
JPEG を選ぶ

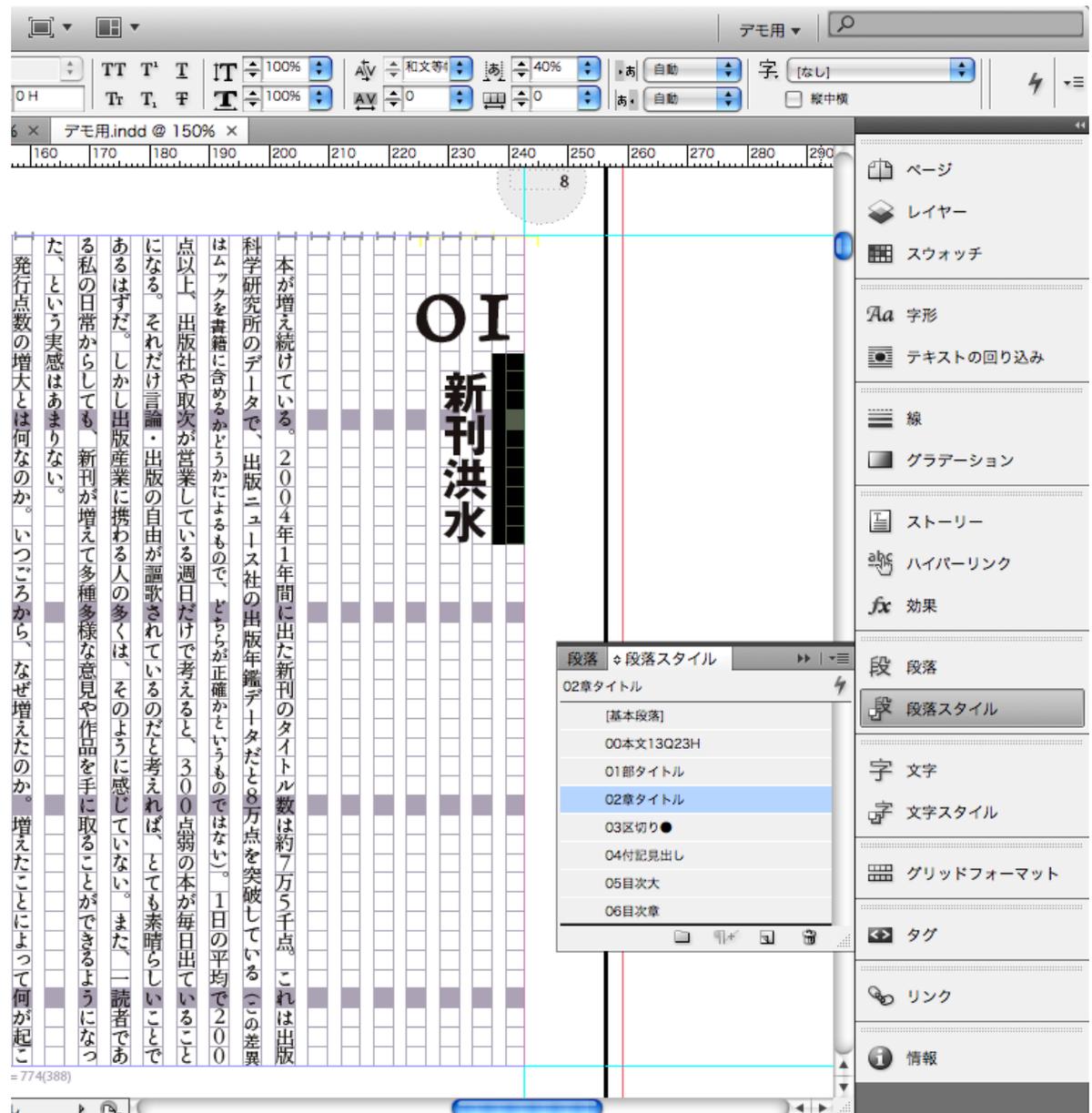
オプションで
選択部分を選んで保存



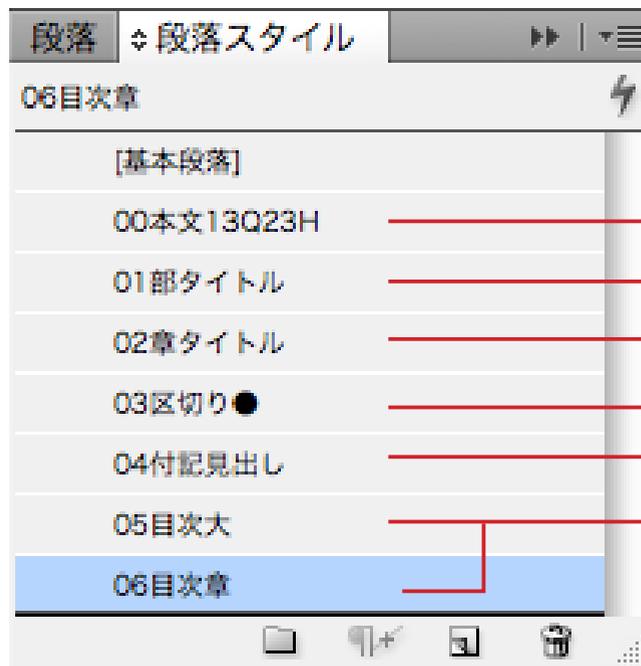
2-2 テキストの書き出し

InDesign では、
テキストフレームという
原稿用紙のような
箱の中にはいています。

段落スタイルという
設定を使って、
改行から次の改行までの
書式を設定します。
見出しには
見出し用の段落スタイル
適用しています。



**テキストを書き出すときに、
段落スタイルと TTX タグを対応させて、
タグの付いた状態のテキストとして
書き出します。**



▼段落スタイルに対応させるタグ

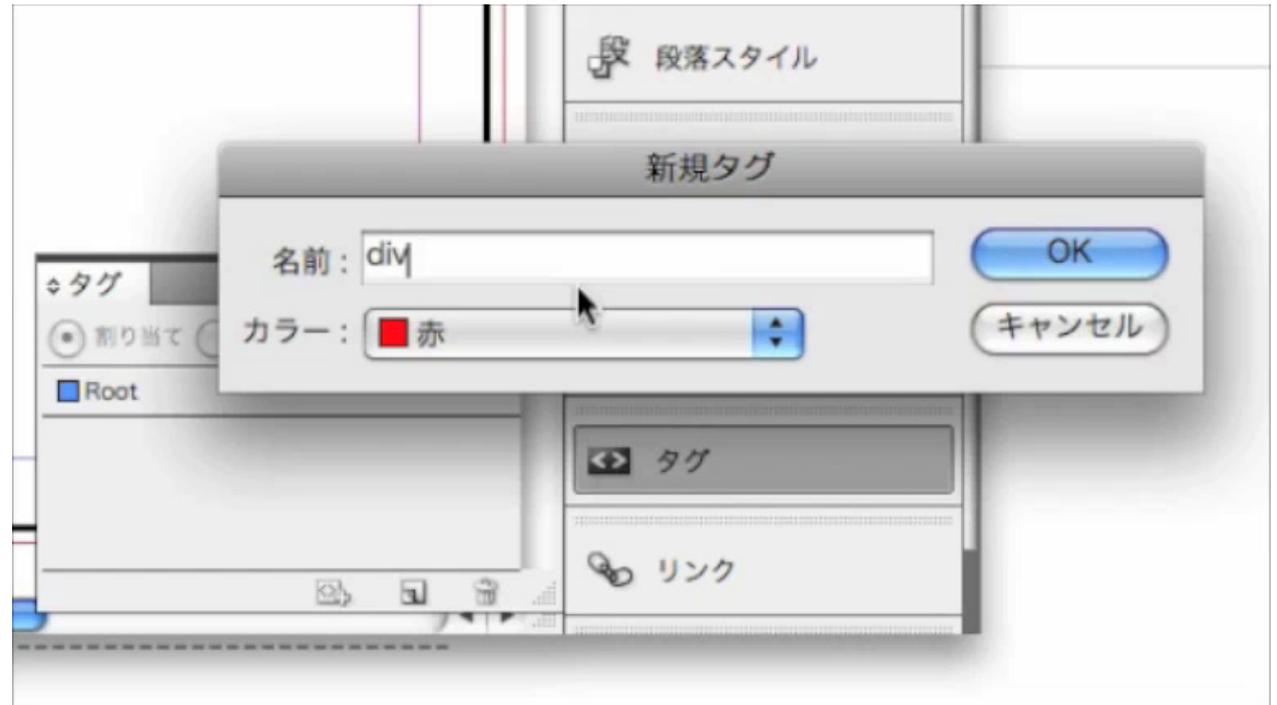
- <p>** 仮（あとで置き換えます）
- <H1>** 見出しを示すタグ
- <H2>** （数字の小さいものほど大きい見出し）
- <H3>**
- <H4>**
- <A>** リンクを設定するためのタグ

**▲サンプルファイルで
使用している段落スタイル**

2-2-1 タグの作成

InDesign から書き出す
テキストに付けたい
タグを作成します。
段落スタイルに
対応させるもののほか、
テキストフレーム
(文字をいれるボックス)
に対応する <div> タグと
目次に使う <T-CONTENTS>
タグを作成します。

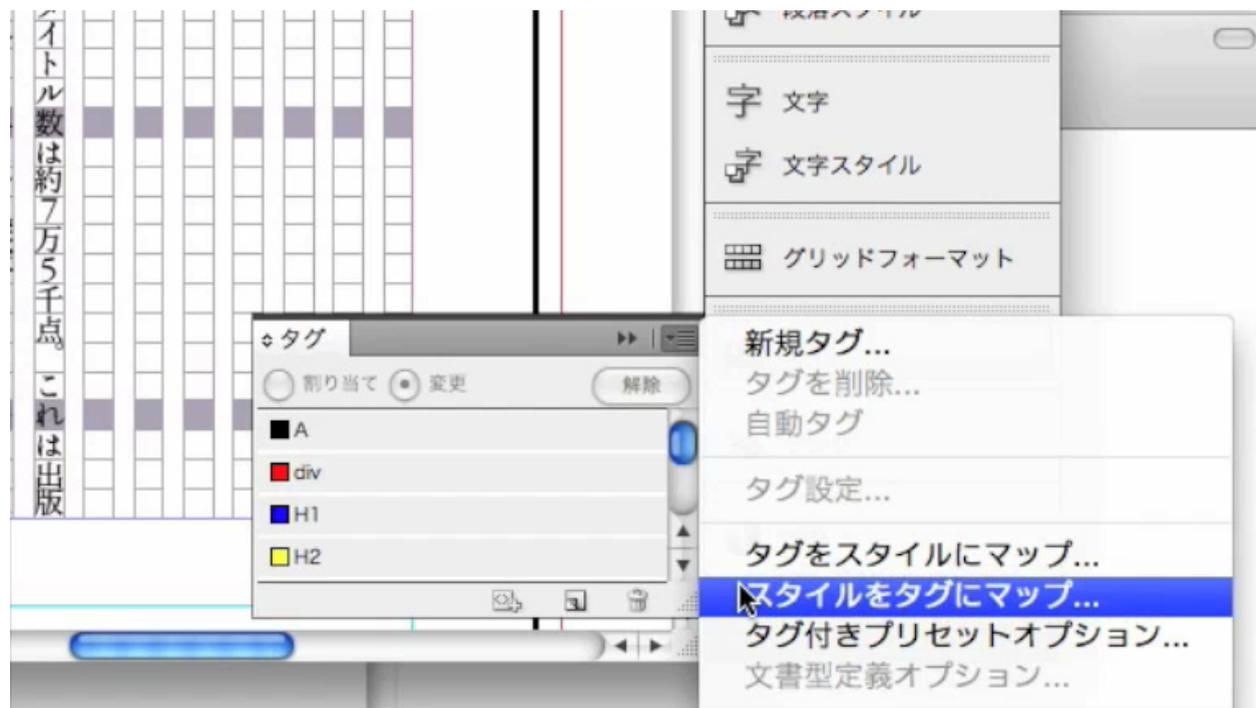
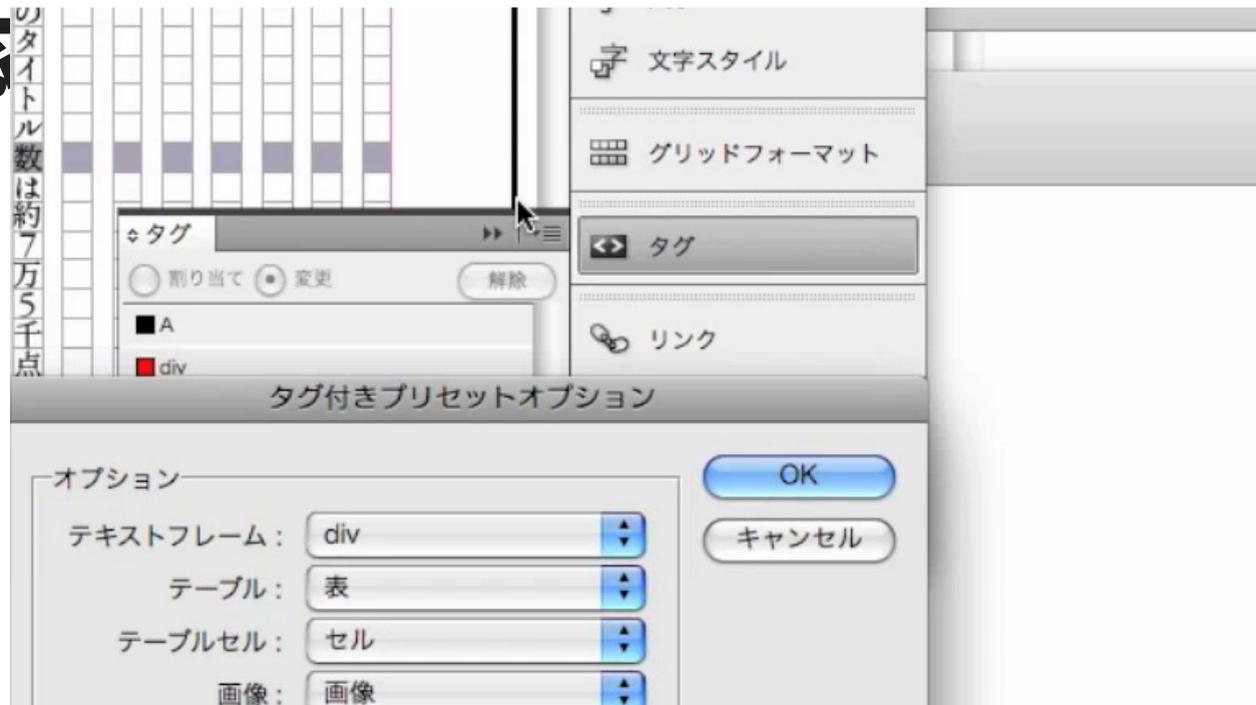
タグパレットで
新規タグを選択、
作りたいタグの名前を入力して
OK ボタンをおします。



2-2-2 タグの対応

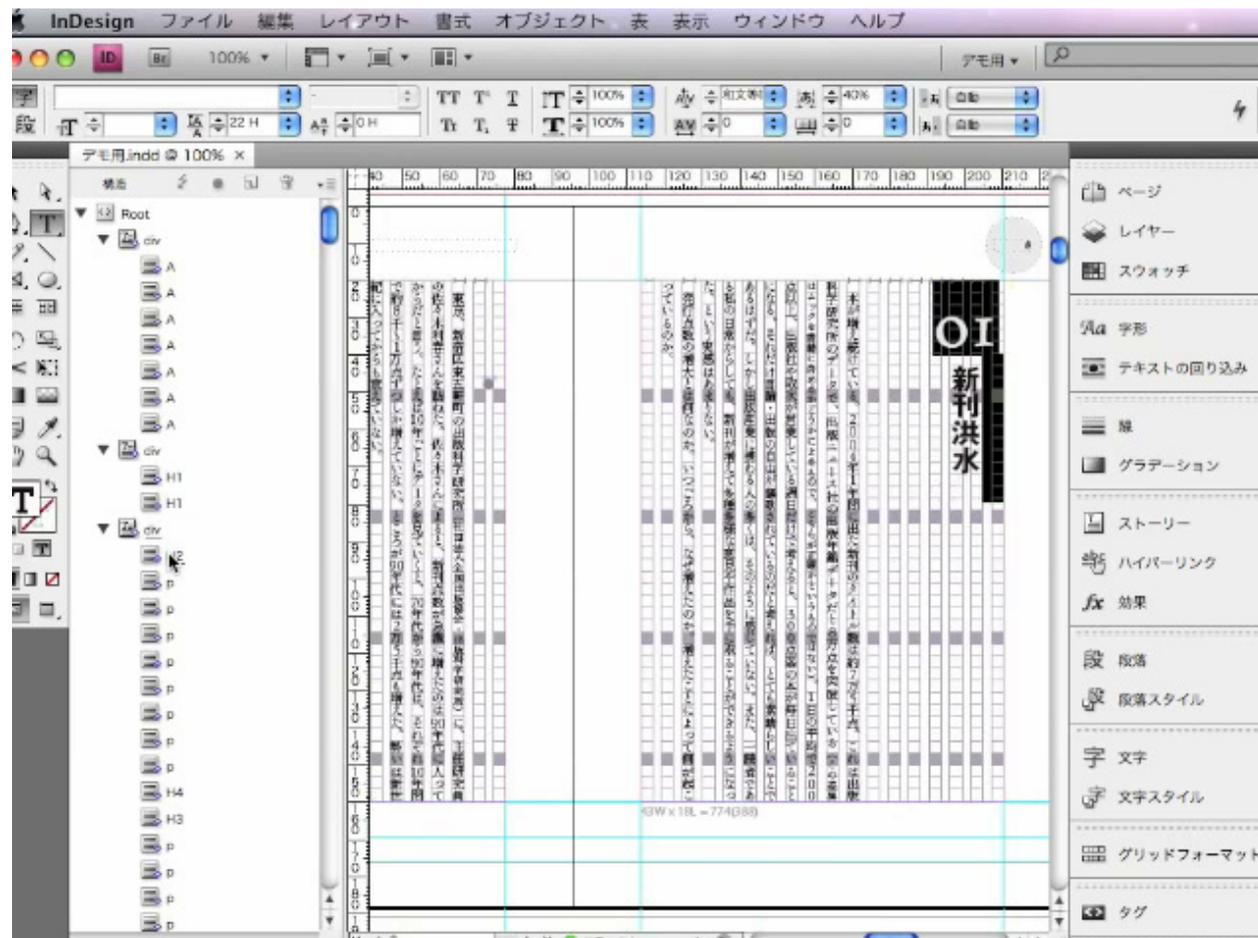
作成したタグと
テキストフレームの
対応付けをします。
タグパレットで、
タグ付きプリセット
オプションを選択、
テキストフレームの所に
div を選んで OK とします。

タグパレットで、
段落スタイルの
対応付けをします。
スタイルをタグにマップ
を選択、
各段落スタイルに
対応させるタグを設定します。

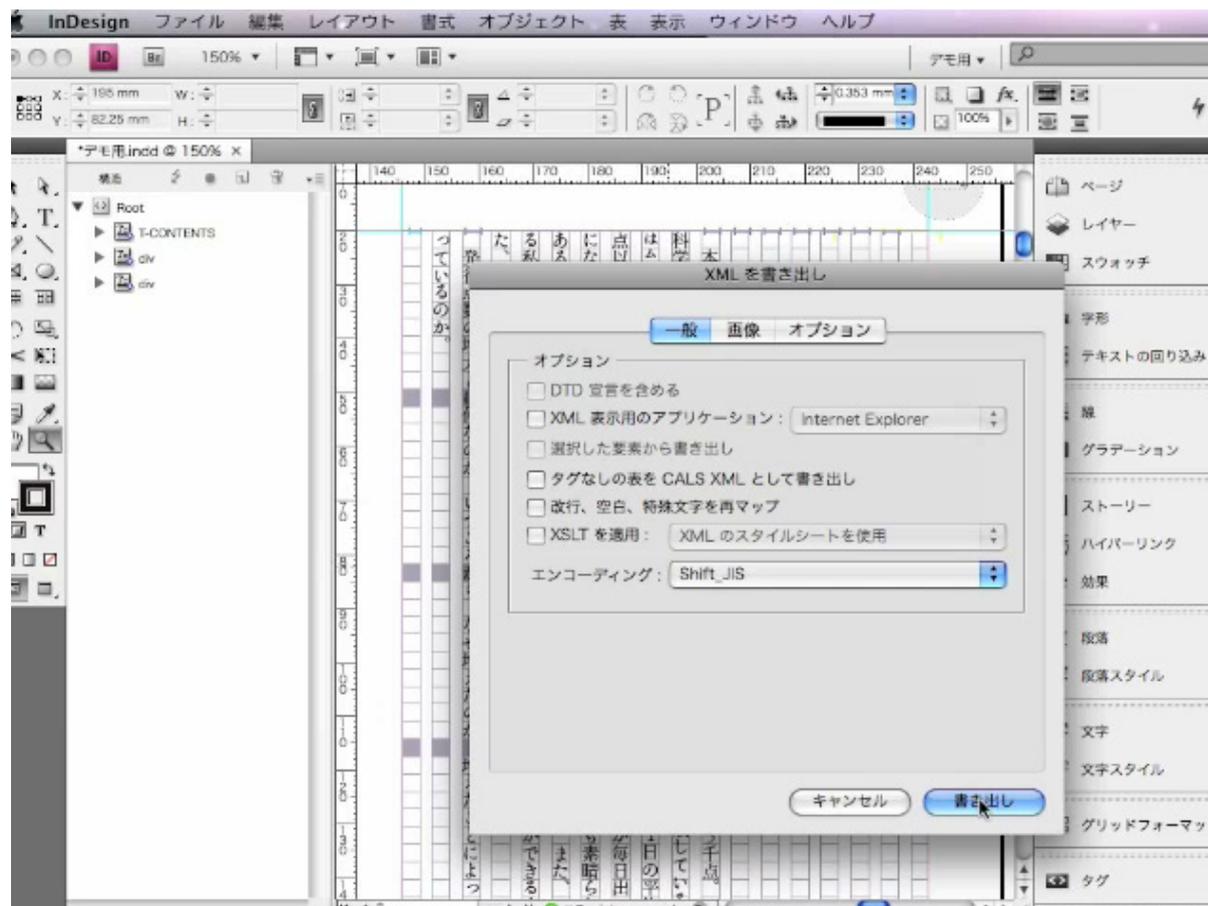


**タグが関連付けされた様子は、
構造パレットを使って
確認できます。**

**ここで、目次の
テキストフレームに
関連づいている
<div> のタグを、
< T-CONTENTS >に
置き換えます**



2-2-3 書き出し



**ファイル→書き出しで、
フォーマットで XML を選択して
書き出します。**

3 テキストエディタで編集する

書き出した XML から、
前後の余分
(Root タグ) を
除いた本体部分を
ttx の
< BODY >
< /BODY >
の間に貼り込む



```
Sample.ttx
"/POTDATA/POT●出版局/ポット出版●編集部/ドットブック/ドットコム入門用/dotbook/本の現場ドットブックサンプル/Sa...
Shift JIS CR+LF (Win)
1 <HTML>
2   <HEAD>
3     <TITLE>本の現場</TITLE>
4     <T-Time
5     honmonface="秀英太明朝0208,ヒラギノ明朝 Pro W3,M S 明朝"
6     midashiface="Osaka,M S ゴシック"
7     hashiraface="秀英太明朝0208,ヒラギノ明朝 Pro W3,M S 明朝"
8     honmonsize=16
9     midashsize=16
10    hashirasize=12
11    charspace=0
12    linespace=12
13    hashiraAlign=left
14    hashiraVisible=true
15    hashiraAutoHide=true
16    hashiraLevel=1
17    text="#000000"
18    link="#0000FF"
19    align=left
20    valign=top
21    author="永江朗"
22    publisher="ポット出版"
23  >
24  <T-PDEF id=1000 src="thumbnail.png" width=96 height=128>
25  <T-PDEF id=1001 src="thumbnail_L.png" width=48 height=64>
26  <T-PDEF id=1002 src="thumbnail_M.png" width=24 height=32>
27  <T-PDEF id=1003 src="thumbnail_S.png" width=12 height=16>
28  </HEAD>
29  <BODY>
30  (本文)
31
32
33
34 </BODY>
35 </HTML>
```

Sample.ttx

```
Sample.xml
"/POTDATA/POT●出版局/ポット出版●編集部/ドットブック/ドットコム入門用/dotbook/本の現場ドットブックサンプル/Sample.xml" (書...
Shift JIS LF (UNIX)
1 <?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" standalone="yes"?>
2 <root><T-CONTENTS><A>本はどう生まれているか .....7
3 </A><A>01 新刊洪水 .....8
4 </A><A>02 本を出したい .....27
5 </A><A>03 ネット発の本 .....41
6 </A><A>04 ライターの事情 .....54
7 </A><A>05 罫プロのいま .....68
8 </A><A>06 情報の無料化 .....81 </A></T-CONTENTS><div><H1>本はどう
9 <H1>><H1>生まれているか</H1></div><div><H2>01 新刊洪水
10 </H2>><div>
11 </div>
12 </div>
13 </div>
14 </div>
15 </div>
16 </p><p> 本が増え続けている。2004年1年間に出た新刊のタイトル数は約7万5千点。これは出版科学研究所のデータで、
17 </p><p> 発行点数の増大とは何なのか。いつごろから、なぜ増えたのか。増えたことによって何が起きているのか。
18 </p><div><h3>●
19 </h3><div>
20 </div>
21 </p><p> 東京、新宿区東五軒町の出版科学研究所（社団法人全国出版協会・出版科学研究所）に、主任研究員の佐々木利利
22 </p><p> 「本が売れなくなったから、点数が増えたんです」と佐々木さんは言う。
23 </p><p> 80年代後半のバブル経済は90年後に崩壊し、日本経済は長期不況に入った。景気の悪化と出版点数の増大は同
24 </p><p> だがちょっと待って。出版界の地味な上げ（雑誌と書籍の売上額の合計）がマイナスに転じたのは97年からでは
25 </p><p> 「いいえ、書籍の実売部数は、すでに89年から対前年比マイナスになっています。しかし雑誌は伸び続けていた
26 </p><p> 97年、消費税率が3%から5%にアップされ、消費が一気に冷え込んだ。価格上昇でグロスの売り上げをカバーし
27 </p><p> 「88年の書籍の実売は9億4千万円だったのに、03年は7億1千万円まで下がっていました。70年代なかばの
28 </p><p> ちなみに04年はミリオンセラーが多かったこともあって、7億5千万円まで回復しました。
29 </p><p> なぜ90年代に本が売れなくなったのだろうか。不況のせい？ それもあるだろう。しかし、昔から「出版は不況に
30 </p><p> 「若者の時代が終わったから」と佐々木さんは言う。
31 </p><p> 「いま振り返ると、80年代は若者の時代でした。とくに雑誌文化は若者のものだったし、書籍でも文庫は若者の
32 </p><p> ところがバブルの頂点で若者が雑誌や書籍にそっぽを向くはじまった。いや、若者の数そのものが減り始めたのが
33 </p><p> 「やっぱり本は若者のものなんです。誰だって若いときは読んだ。でも、年をとったら読まなくなる。団塊の世代
34 </p><p> 問題は、出版社あるいは出版産業全体がどこまで状況を正確に把握していたかである。市場収縮を不可避とら
35 </p><p> 発行点数が増大し続けるもうひとつの理由は、それを抑制するシステムがないからである。80年代の前半、返品
36 </p><p> これにはいくつかの理由が考えられる。まず、「取次」という呼称からも明らかになるように、取次の業務は出版社
37 </p><p> もうひとつ大きかったのは、この時期から出版社が取次に対して返品マージンを支払うようになったこと。出版
38 </p><p> 発行点数が増えても、市場は収縮し続けている。1点当たりの発行部数は減り続ける。ごく大ざっぱにいうと、B
39 </p><p> このまま出版点数は増え続けるのか、それともどこかで縮小均衡に向かうのか。佐々木さんは2007年がひとつの
40 </p><div><h3>●
41 </h3><div>
42 </p><p> 東京、池袋のジュンク堂書店を訪ねた。副店長の中村文幸さんは、芳林堂を経て西武百貨店書籍部（のちのリブ
43 </p><p> 書店では、売場規模に比例して扱う書籍のタイトル数が増える。大数部数を誇る書籍は、都会のメガストアにも
44 </p><p> 2004年の新刊発行点数7万5千点という数字について、「実際はもっと多い」と中村さんは言う。じつは、何を
45 </p><p> 「パソコンが普及して、本は簡単に作れるようになった。作ったら人に見せたくないし、流通させたくない。バ
46 </p><p> ながらには出版を目的とするのではない団体がある。その成果物として本を作る場合もある。NPOや一般企業の刊行物
47 </p><p> だが、出版点数を増大させている最大の勢力は既存の出版社である。出版物の内容が変化していると中村さんは
48 </p><p> 「2匹目のドジョウとはよく言うけど、いまは平均すると4冊目、5冊目まで出る。最近の新書なんて、ほとんど
49 </p><p> 出版もまたビジネスである。志だけやっつけていけばいいが、そうもいかないことがある。出した本を作るため
50 </p><p> 「昔は1冊3版なんていう。出したものを1冊作るために、やりたくないものを3冊作る。それがいまや
51 </p><p> 一方、「出る本も多いけど、なくなる本も多い」と中村さんは言う。品切れや絶版が増えているのだ。日本書籍
52 </p><p> 「単行本が2、3年で文庫になる。文庫になると、出版社は親本を絶版にしてしまう。単行本で読みたいという読
53 </p><p> こでひとつ大きな疑問がわく。出版点数が増え、売場面積も広がったが、書店はどこも人を減らしている。市
54 </p><p> これについて中村さんは「POSレジと自動発注のおかげ」と言う。POSとはPoint Of Sales system。つまり販売
55 </p><p> 「省力化というよりも、レベルダウンが可能になった。レベルが落ちても、とりあえず本は入ってくるから」と
56 </p><p> いま大型書店の多くは棚にコードをふり、棚コード管理をしている。自動発注によって入ってきた本の売場
57 </p><p> 2007年問題についてどう思うか、と中村さんに尋ねた。
58 </p><p> 「人口減も含めて、日本語マーケットは縮小するでしょう。その意味では、出版は科閉産業ですよ。もっとも、
59 </p><div><h3>●
60 </h3><div>
61 </p><p> 増え続ける新刊を誰が作っているのか。
62 </p><p> 出版科学研究所の佐々木利利さんは、90年代以降進行している出版社のリストラと関係があるのではないかと書
63 </p><p> 何人かの編集者に話を聞いた。Aさんは美術系の専門書を多く手がける出版社に勤めている。「発行点数はこの
64 </p><p> Bさんは新書刊行を中止し出版社に勤めている。やはり印刷部は増えているが、たかだか新書部は300点程度
65 </p><p> Cさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
66 </p><p> Dさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
67 </p><p> Eさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
68 </p><p> Fさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
69 </p><p> Gさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
70 </p><p> Hさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
71 </p><p> Iさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
72 </p><p> Jさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
73 </p><p> Kさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
74 </p><p> Lさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
75 </p><p> Mさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
76 </p><p> Nさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
77 </p><p> Oさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
78 </p><p> Pさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
79 </p><p> Qさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
80 </p><p> Rさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
81 </p><p> Sさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
82 </p><p> Tさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
83 </p><p> Uさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
84 </p><p> Vさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
85 </p><p> Wさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
86 </p><p> Xさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
87 </p><p> Yさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
88 </p><p> Zさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
89 </p><p> AAさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
90 </p><p> ABさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
91 </p><p> ACさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
92 </p><p> ADさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
93 </p><p> AEさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
94 </p><p> AFさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
95 </p><p> AGさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
96 </p><p> AHさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
97 </p><p> AIさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
98 </p><p> AJさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
99 </p><p> AKさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
100 </p><p> ALさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
101 </p><p> AMさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
102 </p><p> ANさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
103 </p><p> AOさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
104 </p><p> APさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
105 </p><p> AQさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
106 </p><p> ARさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
107 </p><p> ASさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
108 </p><p> ATさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
109 </p><p> AUさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
110 </p><p> AVさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
111 </p><p> AWさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
112 </p><p> AXさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
113 </p><p> AYさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
114 </p><p> AZさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
115 </p><p> BAさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
116 </p><p> BBさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
117 </p><p> BCさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
118 </p><p> BDさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
119 </p><p> BEさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
120 </p><p> BFさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
121 </p><p> BGさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
122 </p><p> BHさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
123 </p><p> BIさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
124 </p><p> BJさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
125 </p><p> BKさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
126 </p><p> BLさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
127 </p><p> BMさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
128 </p><p> BNさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
129 </p><p> BOさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
130 </p><p> BPさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
131 </p><p> BQさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
132 </p><p> BRさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
133 </p><p> BSさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
134 </p><p> BTさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
135 </p><p> BUさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
136 </p><p> BVさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
137 </p><p> BWさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
138 </p><p> BXさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
139 </p><p> BYさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
140 </p><p> BZさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
141 </p><p> CAさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
142 </p><p> CBさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
143 </p><p> CCさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
144 </p><p> CDさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
145 </p><p> CEさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
146 </p><p> CDさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
147 </p><p> CEさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
148 </p><p> CFさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
149 </p><p> CGさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
150 </p><p> CHさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
151 </p><p> CIさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
152 </p><p> CJさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
153 </p><p> CKさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
154 </p><p> CLさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
155 </p><p> CMさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
156 </p><p> CNさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
157 </p><p> COさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
158 </p><p> CPさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
159 </p><p> CQさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
160 </p><p> CRさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
161 </p><p> CSさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
162 </p><p> CTさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
163 </p><p> CUさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
164 </p><p> CVさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
165 </p><p> CWさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
166 </p><p> CXさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
167 </p><p> CYさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
168 </p><p> CZさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
169 </p><p> DAさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
170 </p><p> DBさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
171 </p><p> DCさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
172 </p><p> DDさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
173 </p><p> DEさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
174 </p><p> DEさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
175 </p><p> DFさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
176 </p><p> DGさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
177 </p><p> DHさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
178 </p><p> DIさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
179 </p><p> DJさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
180 </p><p> DKさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
181 </p><p> DLさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
182 </p><p> DMさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
183 </p><p> DNさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
184 </p><p> DOさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
185 </p><p> DPさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
186 </p><p> DQさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
187 </p><p> DRさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
188 </p><p> DSさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
189 </p><p> DTさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
190 </p><p> DUさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
191 </p><p> DVさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
192 </p><p> DWさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
193 </p><p> DXさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
194 </p><p> DYさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
195 </p><p> DZさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
196 </p><p> EAさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
197 </p><p> EBさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
198 </p><p> ECさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
199 </p><p> EDさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
200 </p><p> EDさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
201 </p><p> EEさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
202 </p><p> EFさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
203 </p><p> EGさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
204 </p><p> EHさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
205 </p><p> EIさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
206 </p><p> EJさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
207 </p><p> EKさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
208 </p><p> ELさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
209 </p><p> EOさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
210 </p><p> EPさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
211 </p><p> EQさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
212 </p><p> ERさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
213 </p><p> ESさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
214 </p><p> ETさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
215 </p><p> EUさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
216 </p><p> EVさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
217 </p><p> EWさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
218 </p><p> EXさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
219 </p><p> EYさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
220 </p><p> EZさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
221 </p><p> FAさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
222 </p><p> FBさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
223 </p><p> FCさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
224 </p><p> FDさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
225 </p><p> FEさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
226 </p><p> FEさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
227 </p><p> FFさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
228 </p><p> FGさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
229 </p><p> FHさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
230 </p><p> FIさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
231 </p><p> FJさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
232 </p><p> FKさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
233 </p><p> FLさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
234 </p><p> FMさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
235 </p><p> FNさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
236 </p><p> FOさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
237 </p><p> FPさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
238 </p><p> FQさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
239 </p><p> FRさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
240 </p><p> FSさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
241 </p><p> FTさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
242 </p><p> FUさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
243 </p><p> FVさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
244 </p><p> FWさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
245 </p><p> FXさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
246 </p><p> FYさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
247 </p><p> FZさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
248 </p><p> GAさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
249 </p><p> GBさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
250 </p><p> GCさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
251 </p><p> GDさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
252 </p><p> GEさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
253 </p><p> GEさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
254 </p><p> GFさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
255 </p><p> GHさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
256 </p><p> GIさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
257 </p><p> GJさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
258 </p><p> GKさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
259 </p><p> GLさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
260 </p><p> GMさんは雑誌部を縮小し出版社に勤めている。雑誌部は減っているが、たかだか新書部は300点程度
261 </p><p> GNさんは雑誌部を縮小
```

①改ページ

< T-PB > を入れる。

②改行

ttx では、html の <p> (段落) タグに対応していないので、< p >を消去、< /p >を
 (改行) タグに置き換える

③画像

画像がはいる部分にタグをつける

例) ttx と同階層にある

img フォルダ内の zu1.jpg を表示する場合、

<T-IMG src="img/zu1.jpg" >と書く

④目次のリンク

例)

目次部分

01 新刊洪水

ジャンプ先

01 新刊洪水

```
Sample.ttx
"/POTDATA/POT●出版局/ポット出版・編集部/ドットブック/ドットコム入門用/dotbook/本の現場ドットブックサンプル/Sample.ttx"((書類 - 標準) 200

32 </STYLE>
33
34 </HEAD>
35 <BODY>
36 <T-CONTENTS><A>本はどう生まれているか
37 </A><BR><A href="#01">01 新刊洪水
38 </A><BR><A href="#02">02 本を出したい
39 </A><BR><A href="#03">03 ネット発の本
40 </A><BR><A href="#04">04 ライターの事情
41 </A><BR><A href="#05">05 編プロのいま
42 </A><BR><A href="#06">06 情報の無料化</A><BR></T-CONTENTS>
43
44 <T-PB>
45
46 <div><H1 t-class="midashi">本はどう生まれているか</H1></div>
47
48
49 <div><T-PB><H2 t-class="komidashi"><A name="01">01 新刊洪水</A></H2>
50 本が増え続けている。2004年1年間に出版された新刊のタイトル数は約7万5千点。これは出版
51 <BR> 発行点数の増大とは何なのか。いつごろから、なぜ増えたのか。増えたことによ
52 <BR><H3>●
53 </H3>
54 <T-IMG src="img/zu01.jpg" ><BR>
55 東京、新宿区東五軒町の出版科学研究所（社団法人全国出版協会・出版科学研究所）に
56 <BR> 「本が売れなくなったから、点数が増えたんです」と佐々木さんは言う。
57 <BR> 80年代後半のバブル経済は90年前後に崩壊し、日本経済は長期不況に入った。景
58 <BR> だがちょっと待って。出版界の総売り上げ（雑誌と書籍の売上額の合計）がマイナ
59 <BR> 「いいえ。書籍の実売部数は、すでに89年から対前年比マイナスになっています。
60 <BR> 97年、消費税率が3%から5%にアップされ、消費が一気に冷え込んだ。価格上昇
61 <BR> 「88年の書籍の実売は9億4千万冊だったのに、03年は7億1千万冊まで下がって
62 <BR> ちなみに04年はミリオンセラーが多かったこともあって、7億5千万冊まで回復し
63 <BR> なぜ90年代に本が売れなくなったのだろう。不況のせい？ それもあるだろう。し
64 <BR> 「若者の時代が終わったから」と佐々木さんは言う。
65 <BR> 「いま振り返ると、80年代は若者の時代でした。とくに雑誌文化は若者のものだ
66 <BR> ところがバブルの頂点で若者が雑誌や書籍にそっぽを向きはじめた。いや、若者の
67 <BR> 「やっぱり本は若者のものなんです。誰だって若いときは読んだ。でも、年をと
68 <BR> 問題は、出版社あるいは出版産業全体がどこまで状況を正確に把握していたかであ
69 <BR> 発行点数が増大し続けるもうひとつの理由は、それを抑制するシステムがないから
70 <BR> これにはいくつかの理由が考えられる。まず、「取次」という呼称からも明らか
```

●スタイルシート

ヘッダ部分

**< HEAD > </HEAD> の中に
見出しの大きさや書体などの
指定を書く**

例)

```
<STYLE type="text/t-time">
```

```
H1.midashi { xsize:200%;
```

```
face:" ヒラギノ角ゴ Pro W6,Osaka, MS ゴシック ";
```

```
linespace:24 }
```

```
H2.komidashi { xsize:120%; face:" ヒラギノ角ゴ Pro  
W6,Osaka, MS ゴシック "; linespace:24 }
```

```
</STYLE>
```

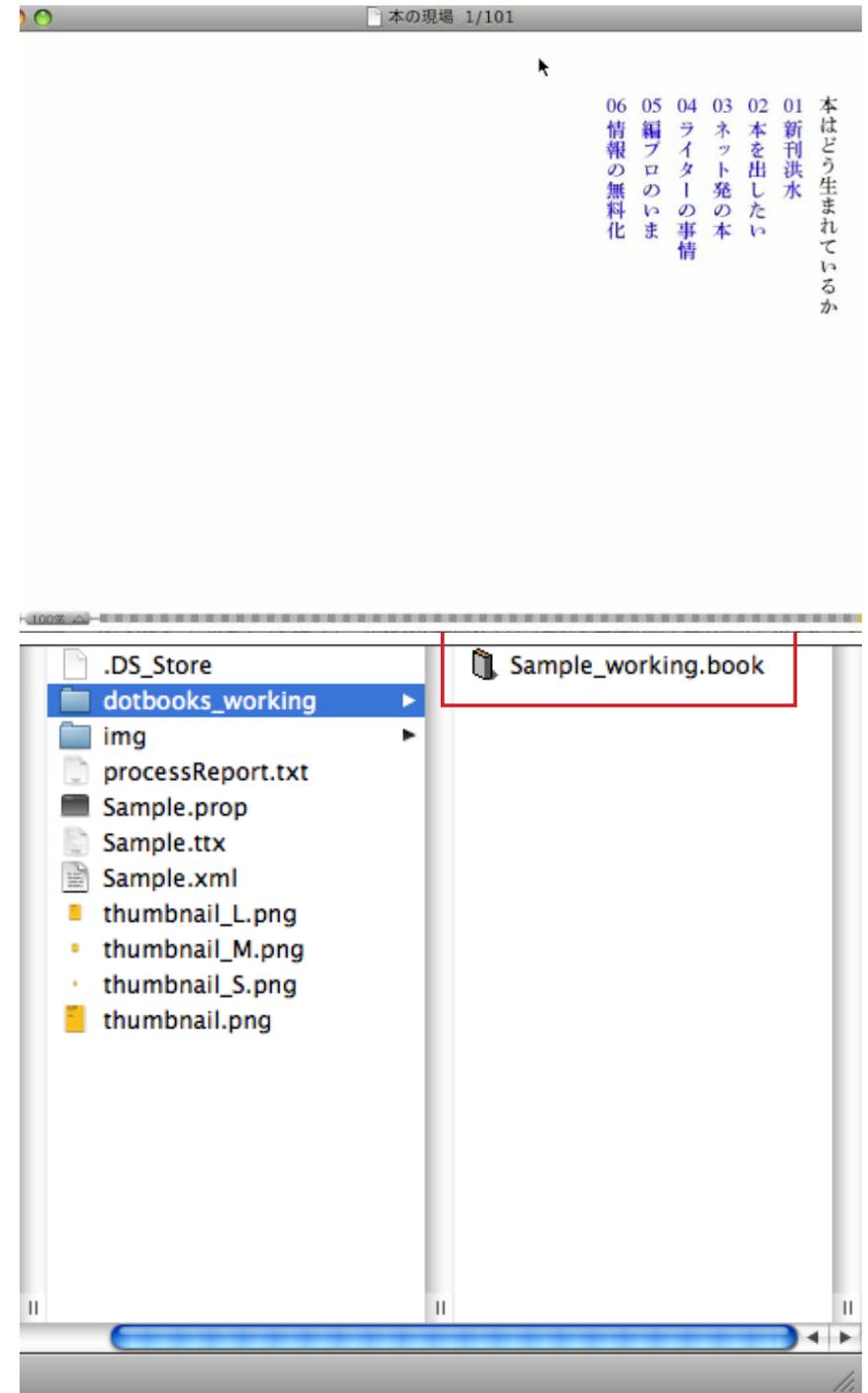
```
< H1 >→< H1 t-class="midashi">
```

```
< H2 >→< H2 t-class="komidashi">
```

```
"/POTDATA/POT●出版局/ポット出版・編集部/ドットブック/ドットコム入門用/dotbook/本の現場ドットブックサンプル/Sample.ttx"((書類 - 標準) 2009/11/30 9:00)
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>本の現場</TITLE>
<T-Time
honmonface="秀英太明朝0208,ヒラギノ明朝 Pro W3,M S 明朝"
midashiface="Osaka,M S ゴシック"
hashiraface="秀英太明朝0208,ヒラギノ明朝 Pro W3,M S 明朝"
honmonsize=16
midashisize=16
hashirasize=12
charspace=0
linespace=12
hashiraAlign=left
hashiraVisible=true
hashiraAutoHide=true
hashiraLevel=1
text="#000000"
link="#0000FF"
align=left
valign=top
author="永江朗"
publisher="ポット出版"
>
<T-PDEF id=1000 src="thumbnail.png" width=96 height=128>
<T-PDEF id=1001 src="thumbnail_L.png" width=48 height=64>
<T-PDEF id=1002 src="thumbnail_M.png" width=24 height=32>
<T-PDEF id=1003 src="thumbnail_S.png" width=12 height=16>
29 <STYLE type="text/t-time">
30 H1.midashi { xsize:200%; face:"ヒラギノ角ゴ Pro W6,Osaka,M S ゴシック"; linespace:24 }
31 H2.komidashi { xsize:120%; face:"ヒラギノ角ゴ Pro W6,Osaka,M S ゴシック"; linespace:24 }
32 </STYLE>
33
34 </HEAD>
35 <BODY>
36 <T-CONTENTS><A>本はどう生まれているか
37 </A><BR><A href="#01">01 新刊洪水
38 </A><BR><A href="#02">02 本を出したい
39 </A><BR><A href="#03">03 ネット発の本
40 </A><BR><A href="#04">04 ライターの事情
41 </A><BR><A href="#05">05 編プロのいま
42 </A><BR><A href="#06">06 情報の無料化</A><BR></T-CONTENTS>
43
44 <T-PB>
45
46 <div><H1 t-class="midashi">本はどう生まれているか</H1></div>
```

**TTX ファイルを
T-Time で開くと体裁を
確認できます。**

**最後に
ドットブックビルダーで
ドットブックファイルに
変換します。**



●参考資料

○公式資料

ドットブック作成の手引き v5

TTX タグ仕様 _v1_0.pdf

○参考サイト（InDesign から書き出し）

DTP Transit

InDesign CS3 から Dreamweaver の書き出し（2）

http://www.dtp-transit.jp/adobe/indesign/post_485.html

○ポット出版のサイトでもレポートを書いています。

はじめてのドットブック作成【本の現場編】

<http://www.pot.co.jp/>

[diary/20091026_150627493914799.html](http://www.pot.co.jp/diary/20091026_150627493914799.html)